



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 品川リフラクトリーズ株式会社 上場取引所 東 札
コード番号 5351 URL <https://www.shinagawa.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 弘之
問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長 (氏名) 仮屋崎 勉 TEL 03 (6265) 1600
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	38,266	13.0	4,408	11.5	2,890	△5.3	3,095	△14.3	1,757	△39.7
2025年3月期第1四半期	33,867	△7.6	3,952	△10.4	3,050	△13.3	3,613	△7.3	2,913	△57.7

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 774百万円 (△82.2%) 2025年3月期第1四半期 4,350百万円 (△48.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	38.54	—
2025年3月期第1四半期	63.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	213,780	93,101	41.1	1,924.48
2025年3月期	195,214	93,828	45.6	1,951.55

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 87,762百万円 2025年3月期 88,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	83,000	21.6	10,000	22.1	6,000	△5.3	6,000	△10.0	3,500	△28.7	76.75
通期	176,000	22.2	23,000	28.1	14,500	9.2	14,500	6.2	8,500	△13.1	186.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) Reframax Engenharia Ltda.、除外 1社 (社名) 品川ファインセラミックス株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	47,146,830株	2025年3月期	47,146,830株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,543,572株	2025年3月期	1,543,492株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	45,603,283株	2025年3月期1Q	45,562,890株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2025年8月8日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の通商政策動向や中国経済の停滞、中東情勢などの地政学リスクにより、不安定な状況が継続しました。日本経済につきましては、為替変動や物価上昇、不安定な海外情勢により慎重な見方があるものの、企業収益には改善の動きが見られるなど、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。一方で、耐火物業界の最大の需要先である鉄鋼業界におきましては、国内の自動車・建設業向けや輸出向けの鉄鋼需要が低調であったこと等の要因により、当第1四半期累計の国内粗鋼生産量は前年同期比5.1%減少し、2,016万トンとなりました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の当社グループのセグメント別の経営成績は以下のとおりとなりました。

<耐火物セグメント>

国内粗鋼生産量の減少に加えて、海外においてもお客様の活動水準の低位継続及び競合環境の激化により耐火物販売数量が減少しましたが、2024年10月より新たに当社グループに加わったオランダのGouda Refractories Group B.V.（以下「Gouda社」という。）の業績が寄与したこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は262億41百万円（前年同期比13.1%増）となりました。セグメント利益は、のれん他償却額の増加があったものの、Gouda社の業績が寄与したことに加えて、原材料費の変動を適正に反映した価格設定やコストダウン等を進めたことにより、22億59百万円（同25.1%増）となりました。

<断熱材セグメント>

国内外において受注案件の拡大に取り組んだものの、欧州及び中国市場の需要減速に伴う海外グループ会社の業績悪化や、国内の改修案件が端境期で耐火断熱レンガの販売数量が減少したこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は38億89百万円（同6.3%減）、セグメント利益は5億18百万円（同30.4%減）となりました。

<先端機材セグメント>

ファインセラミックス製品の拡販を推進したものの、半導体製造装置関連製品において需要の増加が未だ本格化していないことに加えてお客様の在庫調整の影響で販売数量が減少し、当第1四半期連結累計期間の売上高は9億63百万円（同7.2%減）、セグメント損失は31百万円（前年同期はセグメント利益44百万円）となりました。

<エンジニアリングセグメント>

製鉄所構内の大型工事案件の工事進捗に伴う売上計上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は72億91百万円（前年同期比26.3%増）となりました。一方で、ブラジルのReframax Engenharia Ltda.の買収に伴う一過性の関連費用4億円の計上等により、セグメント損失は15百万円（前年同期はセグメント利益3億20百万円）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は売上高382億66百万円（前年同期比13.0%増）、各段階利益につきましては、EBITDA44億8百万円（同11.5%増）、営業利益28億90百万円（同5.3%減）、経常利益30億95百万円（同14.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前第1四半期連結累計期間に対し、当第1四半期連結累計期間には多額の固定資産売却益がないことから17億57百万円（同39.7%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、「受取手形、売掛金及び契約資産」及び「のれん」の増加を主たる要因として前連結会計年度末に比べ185億65百万円増加し、2,137億80百万円となりました。

負債は「短期借入金」の増加を主たる要因として前連結会計年度末に比べ192億92百万円増加し、1,206億78百万円となりました。

純資産は「為替換算調整勘定」の減少を主たる要因として前連結会計年度末に比べ7億26百万円減少し、931億1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想については、耐火物セグメントにおける拡販及びコストダウン効果、並びにエンジニアリングセグメントにおける工事案件の増加が見込まれることから、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期（累計）の連結業績予想を売上高830億円（前回公表値810億円、増減率2.5%）、EBITDA100億円（前回公表値95億円、増減率5.3%）、営業利益60億円（前回公表値50億円、増減率20.0%）、経常利益60億円（前回公表値50億円、増減率20.0%）、親会社株主に帰属する中間純利益35億円（前回公表値30億円、増減率16.7%）にそれぞれ上方修正いたします。

また、第2四半期（累計）の連結業績予想修正に伴い、通期の連結業績予想も売上高1,760億円（前回公表値1,740億円、増減率1.1%）、EBITDA230億円（前回公表値225億円、増減率2.2%）、営業利益145億円（前回公表値135億円、増減率7.4%）、経常利益145億円（前回公表値135億円、増減率7.4%）、親会社株主に帰属する当期純利益85億円（前回公表値80億円、増減率6.3%）にそれぞれ上方修正いたします。

なお、配当予想については、2025年5月15日に公表いたしました年間配当予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,024	20,973
受取手形、売掛金及び契約資産	39,208	43,300
電子記録債権	4,372	4,144
有価証券	3,713	5,180
商品及び製品	14,554	14,877
仕掛品	6,125	6,481
原材料及び貯蔵品	13,509	13,497
その他	2,496	3,106
貸倒引当金	△40	△46
流動資産合計	106,964	111,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,568	13,386
機械装置及び運搬具（純額）	16,722	17,474
土地	9,449	9,433
その他（純額）	6,896	7,406
有形固定資産合計	46,637	47,701
無形固定資産		
のれん	14,957	28,322
その他	13,125	12,665
無形固定資産合計	28,082	40,988
投資その他の資産		
投資有価証券	9,222	9,303
繰延税金資産	657	568
その他	3,772	3,827
貸倒引当金	△123	△124
投資その他の資産合計	13,529	13,575
固定資産合計	88,249	102,265
資産合計	195,214	213,780

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,671	20,623
電子記録債務	1,332	1,625
短期借入金	24,854	42,535
未払法人税等	770	897
賞与引当金	1,728	857
環境対策引当金	74	67
災害損失引当金	251	171
その他の引当金	180	99
その他	8,093	10,281
流動負債合計	57,957	77,158
固定負債		
長期借入金	32,602	32,695
退職給付に係る負債	804	814
その他の引当金	265	217
その他	9,756	9,792
固定負債合計	43,429	43,519
負債合計	101,386	120,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,300	3,300
資本剰余金	466	466
利益剰余金	80,264	79,969
自己株式	△2,432	△2,432
株主資本合計	81,597	81,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,827	3,759
繰延ヘッジ損益	42	8
為替換算調整勘定	3,071	2,247
退職給付に係る調整累計額	458	443
その他の包括利益累計額合計	7,399	6,458
非支配株主持分	4,830	5,338
純資産合計	93,828	93,101
負債純資産合計	195,214	213,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	33,867	38,266
売上原価	25,991	28,611
売上総利益	7,875	9,655
販売費及び一般管理費	4,824	6,764
営業利益	3,050	2,890
営業外収益		
受取利息	65	125
受取配当金	166	182
持分法による投資利益	33	31
為替差益	267	62
助成金収入	3	0
その他	105	85
営業外収益合計	641	487
営業外費用		
支払利息	59	245
その他	20	36
営業外費用合計	79	282
経常利益	3,613	3,095
特別利益		
固定資産売却益	759	—
投資有価証券売却益	0	—
国庫補助金	—	180
特別利益合計	759	180
特別損失		
固定資産処分損	12	10
固定資産圧縮損	—	159
災害による損失	7	14
特別損失合計	19	184
税金等調整前四半期純利益	4,353	3,091
法人税、住民税及び事業税	800	870
法人税等調整額	561	326
法人税等合計	1,361	1,197
四半期純利益	2,991	1,894
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	136
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,913	1,757

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	2,991	1,894
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	333	△70
繰延ヘッジ損益	1	△33
為替換算調整勘定	1,017	△991
退職給付に係る調整額	0	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△8
その他の包括利益合計	1,359	△1,119
四半期包括利益	4,350	774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,209	817
非支配株主に係る四半期包括利益	141	△43

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	耐火物	断熱材	先端機材	エンジニアリング	計				
売上高									
外部顧客への売上高	23,166	3,776	1,009	5,689	33,641	226	33,867	—	33,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29	376	28	83	518	0	519	△519	—
計	23,195	4,152	1,038	5,772	34,159	227	34,386	△519	33,867
セグメント利益	1,805	744	44	320	2,915	144	3,059	△9	3,050

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益の調整額△9百万円は、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	耐火物	断熱材	先端機材	エンジニアリング	計				
売上高									
外部顧客への売上高	26,217	3,609	963	7,246	38,036	229	38,266	—	38,266
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23	280	—	45	348	0	349	△349	—
計	26,241	3,889	963	7,291	38,385	230	38,616	△349	38,266
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,259	518	△31	△15	2,730	147	2,878	11	2,890

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額11百万円は、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、Reframax Engenharia Ltda. を連結の範囲に含めたことにより、「エンジニアリング」におけるのれんが13,861百万円増加しております。なお、当該のれんは、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	845百万円	1,271百万円
のれんの償却額	56	246

(重要な後発事象の注記)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2025年6月26日開催の当社取締役会において、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分（以下、「本自己株式処分」という。）を行うことを決議し、以下のとおり自己株式の処分を実施いたしました。

1. 処分の概要

(1) 払込期日	2025年7月25日
(2) 処分した株式の種類及び株式数	当社普通株式 29,882株
(3) 処分価額	1株につき1,626円
(4) 処分価額の総額	48,588,132円
(5) 処分先	当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除き、退任者2名を含む。） 5名 29,882株
(6) その他	本自己株式処分のうち、退任者2名を処分先とするものについては、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

2. 処分の目的及び理由

当社は、2023年5月11日開催の取締役会において、当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除き、以下「対象取締役」という。）に、当社の企業価値の向上を図るインセンティブを付与すると共に、株主の皆様と一層の価値共有を進めることを目的として、事後交付型業績連動型株式報酬制度（パフォーマンス・シェア・ユニット制度）（以下「本制度」という。）を導入することを決議しました。

また、2023年6月29日開催の第189回定時株主総会において、（i）本制度に基づき、当社取締役会が定める期間（以下「評価期間」という。なお、本自己株式処分に係る評価期間は、2024年4月1日から2025年3月31日までの1事業年度であります。）中における、当社取締役会にて設定した業績数値基準の達成割合等に応じて算定される数の当社の普通株式について、対象取締役が発行又は処分を受けること、（ii）これにより発行又は処分される当社の普通株式の総数は年40,000株以内（※）、支給する金銭報酬債権の額は年額80百万円以内とすること、並びに、（iii）譲渡制限付株式の譲渡制限期間は譲渡制限付株式の交付日から当該対象取締役が当社の取締役その他当社取締役会で定める地位を喪失する日までとすることにつき、ご承認をいただいております。

このたび、本自己株式処分に係る評価期間が終了しましたので、当社は、2025年6月26日開催の取締役会の決議に基づいて、取締役としての職務執行の対価として、対象取締役5名に対し、評価期間における業績結果に基づき、当社の普通株式合計29,882株を付与いたしました。

（※）2023年10月1日の株式分割後は年200,000株以内